

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより



令和7年第3回定例会（8／29～9／26）

- 定例会で決まったこと・・・・・・・・・・ 2 ページ
- 令和6年度決算・・・・・・・・・・ 4
- 議案一覧・主な質疑・・・・・・・・・・ 6
- 一般質問・・・・・・・・・・ 8

その他

- 第100号記念特集・・・・・・・・・・ 15
- 議員とたはらトーク・・・・・・・・・・ 16
- 行政視察報告・・・・・・・・・・ 18
- 議会の活動・・・・・・・・・・ 19



みんなに感動を与える和太鼓の鼓動

ゆうかだいこ
優華太鼓の皆さん（インタビュー20ページ）

を認定しました

令和7年 第3回 定例会 (8月29日～9月26日)

このようなことが決まりました

市長提出議案	15件
議員提出議案	2件

令和7年第3回定例会を8月29日から9月26日まで開催しました。
令和6年度決算認定を含む市長提出議案15件を、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。また、議員提出議案の意見書2件を可決し、国の関係機関に送付しました。

▷ 関連 4～7 ページ



9月18日、19日の両日、予算決算委員会を開催して決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

令和6年度決算を
認定しました

議案第72号令和6年度一般会計歳入歳出決算認定ほか4件

令和6年度決算

議案第69号令和7年度一般会計補正予算（第2号）

幹線道路整備事業を含む補正
予算を可決しました

渥美半島地域の状況と道路交通の課題を踏まえ、防災、農業物流・観光交流、安心な暮らしの3つの観点からそれぞれ政策目標を設定し、強靱^{きょうじん}で信号のない道路の整備に向けて、概略設計を行うための予算を計上しました。



議案第70号令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

子ども・子育て支援金制度の
開始に伴うシステム改修を
行います

令和8年度から子ども・子育て支援金制度が開始されるに当たり、国民健康保険税の収納管理のためのシステム改修を行います。



一般会計

歳入総額 372億9,882万円

歳出総額 361億6,263万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

令和6年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満四捨五入)

令和6年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月18日、19日の2日間にわたり開催された予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

※万円未満四捨五入

			歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引額(A)－(B)
特別会計	国民健康保険		78億1,961万円	77億967万円	1億994万円
	後期高齢者医療		9億2,942万円	9億2,753万円	189万円
企業会計	水道事業	収益的収支	12億3,631万円	11億5,992万円	7,639万円
		資本的収支	1億4,057万円	6億55万円	▲4億5,998万円
	下水道事業	収益的収支	25億9,975万円	24億8,910万円	1億1,065万円
		資本的収支	8億1,275万円	13億1,260万円	▲4億9,985万円

水道および下水道事業会計(資本的収支)の不足分は、損益勘定留保資金などで補填されました。

産学官連携推進事業

問 高校生およびその保護者に路線バス利用調査アンケートを実施した結果、どのようなことが分かったのか。

答 本市の支援策が高校生世帯の通学費用の負担の軽減とともに、バス利用促進に効果があることが分かった。

市民協働まちづくり推進事業

問 令和6年度は6団体に計40万9千円を支援したとあるが、この補助金の活用状況をどのように捉えているのか。

答 令和5年度の実績は2団体であったが、新型コロナウイルスの影響が考えられるため、引き続き、この補助金の周知や活用促進に努めていきたいと考えている。



総務費
58億4,081万円

生活困窮者自立支援事業

問 支援が終了している方もいて、相談対象者の170件全てを継続して支援しているわけではないとのことだが、このプラン作成実績が0件であった要因は何だったのか。

答 相談受付は行ったものの、計画的な就労支援が必要と判断される方がいなかったため、結果としてプラン作成実績は0件になっている。

福祉団体活動支援事業

問 当事者団体の会員の確保について、市は何か支援しているのか。

答 当事者団体が行うイベントなどの後援を行い、会場使用やイベントの周知などに協力している。当事者団体の活動を広く知ってもらうことで、会員の確保につながる支援を行っている。



民生費
94億1,608万円



農林水産業費
16億6,910万円

農業経営活性化事業

問 花咲く暮らしラボの効果をどのように捉えているのか。

答 渥美半島菜の花まつりの入場者数が前年度と比較して増加したことや、テレビ番組やメディアへの露出換算額が約3200万円であったことから、市内外に本市の魅力について広く発信できたと捉えている。

問 クラウドファンディング型ふるさと納税を実施した結果は。

答 令和6年の11月27日から翌年の2月24日の期間で実施したクラウドファンディング型ふるさと納税では666件の寄附があり、約1550万円寄附額があった。



商工費
9億1,707万円

観光推進事業

問 観光事業者等提案事業補助金について、この補助金制度をどのように評価したのか。

答 観光振興だけでなく、人材育成および組織強化にもつながったものと評価をしている。

問 20万円という上限額は適当であったと考えているのか。

答 3年後には自走して事業を行ってもらうことを前提とした、スタートアップのための補助金制度となっている。1年目の上限を引き上げて実施した場合、2年目、3年目の補助率が下がったときの自己資金の負担額も増えることとなるため、上限額20万円は適当であったと考えている。



土木費
36億9,116万円

建築関連指導行政事務

問 波瀬町と東滝頭、ほとと台で、第二次スクリーニング調査（大規模盛土造成地変動予測調査）を1600万円程度で実施したが、この調査結果はどのようなものであったのか。

答 いずれの箇所においても、地震時の安全率が基準値を上回っており、現時点での安全性を確認することができた。

問 この結果に基づいて、どのような対応を考えているのか。

答 市内23箇所の大規模盛土造成地について、変状や湧水の発生、擁壁等の構造物に変化があるかどうかを確認する定期点検を、5年ごとに実施していく予定である。



教育費
47億1,275万円

共育推進事業

問 専門員の人員配置について、令和6年度を終えて見えてきた課題はあるか。

答 児童生徒からの相談が増加傾向にあることや、不登校の増加に伴い、くすの木ルームに通う児童生徒も年々増加している。このような状況において、一人一人の悩みを抱える児童生徒に十分寄り添った支援ができていたとは言い難い状況であり、必要に応じた適切な専門職の増員が喫緊の課題であると認識している。

問 スクールソーシャルワーカーの不足感について、どのように認識しているのか。

答 将来を支える子どもの教育環境を整えるため、専門職の増員が課題解決に必要なことだと考える。

議案 番号	令和7年第3回定例会議案一覧表
62	教育委員会委員の任命 (山本 哲男 氏)
63	監査委員の選任(中西 隆一 氏)
64	市議会議員及び市長の選挙における 選挙運動用自動車の使用及び選挙運 動用ボスターの作成の公営に関する 条例及び市議会議員及び市長の選挙 におけるビラの作成の公費負担に関 する条例の一部改正
65	市職員の勤務時間、休暇等に 関する条例の一部改正
66	市職員の育児休業等に関する 条例の一部改正
67	芦ヶ池農業公園の設置及び管理に 関する条例の一部改正
68	土地改良事業計画の変更
令和7年度補正予算	
69	一般会計(第2号)
70	国民健康保険特別会計(第1号)
71	後期高齢者医療特別会計(第1号)
令和6年度歳入歳出決算認定	
72	一般会計
73	国民健康保険特別会計
74	後期高齢者医療特別会計
75	水道事業会計利益の処分及び 決算認定
76	下水道事業会計利益の処分及び 決算認定
■追加議案	
議員提出議案	
意見書1	定数改善計画の早期策定・実施と 義務教育費国庫負担制度の堅持及び 拡充を求める意見書

主な質疑

意見書2
刑事訴訟
る意見書

議案
No. 67

問 利用許可を受ける施設として、これまででは市民農園及び多目的広場としていたが、今回、施設等に改正することとした理由は。

答

問 今後、各施設の整備内容が確定し

答 今回の条例改正は、芦ヶ池農業公

(9/11 総務産業委員会)

問 滝頭公園野球場の照明の不点灯が

答
施設管理におけるリスク対応が十分であったと認識しており、今後は情報の早期把握や在庫管理に一層の注意を払い、同様の事態の未然防止に努めていく。

を休止した理由は。

問 渥美運動公園体育館の空調設備に

答 事前に整理すべき課題が多岐にわ

問 具体的にどのような整備内容を想定しているのか。

答 停電時でも自立のかつ持続的に稼

熱性の確保といった観点が重要と
考えている。ただし、こうした機
能を備えるには、構造上の制約を
解決することや、多大な設備投資
を要するため、さまざまな可能性
を精査する中で、整備内容を明ら
かにしていく。

(9/12 予算決算委員会)

議案
No. 72

電子計算業務運用事務

問 書かない窓口システムの利用実績は。

住民票や戸籍関係の証明では約7600件、マイナンバーカード関係では約7800件、税証明の関係では約4000件、そして、お

くやみ窓口については約480件程度の合計約1万6千件以上の利用があり、関係する申請全体の4割程度で利用された。

問 行政効果として窓口業務時間の削減、住民の滞在時間の短縮等をどう捉えているか。

答 市民にとっては、書類への記入の負担が減ったことで滞在時間を短縮できるため、利便性が向上し、職員にとっては、申請書の記入や確認作業を省略できるため、業務時間が減少し、効率化が図られた。

子ども医療費給付事業

問 子ども医療費無償化の対象を18歳まで拡大したことによる効果は。

答 医療費を助成することで保護者の経済的負担が軽減され、安心して必要な医療を受けられるなど、子育て支援策としての効果がある。

介護予防把握事業

問 令和6年度に基本チェックリストを送付した方のうち、返信のなかった方には、どのような対応を行ったのか。

答 返信のなかった方で、かつ、令和

6年度の後期高齢者健診の未受診の方が約200人いる。その方については、翌年度となる今年度、全て戸別訪問を実施して、必要に応じて支援につなげている。

生活保護費支給事業

問 生活保護受給者の多くが就労に結びつかない要因には、どのようなことがあったのか。

答 働いたことがなかったり、長期間失業状態が続いたりしたことによって、就労に必要なスキルや経験が乏しく、就労に対する自信が持てずに就労につながらないといったことが考えられる。

母子保健事業

問 当初予算に対して、最終予算が884万5千円減額した要因は。

答 当初予算編成時は出生数を280件と見込み、関連予算を計上した。しかし、実際は約230人にとどまっている。これにより、妊産婦や乳児を対象とした各種健康診査などの委託料が執行残となる見込みとなったため、相当額を減額した。

家畜伝染病予防支援事業

問 どのようにワクチン接種に取り組んでいるか。

答 牛のワクチン接種については、毎年4月に獣医師と打ち合わせを実施し、その年の年度における接種時期や感染症の流行を捉え、予防接種計画を定めて接種している。また、豚熱ワクチンの接種については、国の指針に基づき接種している。

家畜ふん尿処理支援事業

問 家畜排せつ物処理施設の補修の補助金の周知はどのように行ってきたのか。

答 広報たはらや市のホームページのほか、県田原農業改良普及課などの関係団体と連携し、周知に取り組んでいる。また、畜産農家等に送付する悪臭関係工場等の届出の提出を依頼する通知書に併せて、補助金の制度に関するチラシも同封して周知している。

(9/18 予算決算委員会)

空き家対策事業

問 空き家・空き地バンクの登録件数を増やしていくために実施した取り組みは。

答 空き家所有者等へのアンケート調査において、各種支援制度のチラシを同封したことで、空き家・空き地バンク制度に関する問い合わせを多くいただいている。このことから、空き家所有者等に対する個別・直接的なアプローチが効果的であると確認できたため、今後このような働きかけを行っていきたいと考えている。

(9/19 予算決算委員会)

■意見書を送付しました

▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書 他1件

9月26日の本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣などに意見書を提出しました。

※内容はホームページでもご覧いただけます。



ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

個別避難計画作成の進め方は

記載項目を減らすなど、計画作成の負担を軽減する



つじ ふみ こ
辻 史子
公明党田原市議団



災害対策基本法等の改正に伴う市の防災の取り組みについて

問 能登半島地震等を踏まえた法改正に伴う防災対策について、市の取り組みの考え方は。

答 災害時避難行動要支援者台帳の登録や、個別避難計画の作成に取り組んでいる。その他、災害情報の収集および伝達に当たって、新総合防災情報システムから情報を受信するための県のシステム改修後、速やかに運用できるよう準備していく。

問 災害時避難行動要支援者台帳は、現在1,583名の登録があるが、個別避難計画の作成実績は1件である。今後の計画作成の進め方は。

答 今年度、要支援者台帳の登録申請用紙を変更し、個別避難計画に必須の自分が避難する避難所名等の項目を加え、避難に関して声かけ等の支援をしてくれる地域支援者や、避難先等の情報の記載があれば、それを「わたしの避難計画」と名付けた個別避難計画とすることとした。記載項目の減少等、計画作成の負担を減らすことにより、より多くの計画作成につなげていく。

問 感染症や災害を想定した業務継続計画（BCP）の策定が十分でない事業所に対して、どのような支援を行っているか。

答 田原市介護保険関係事業者等連絡会や田原市医師会在宅医療サポートセンターなど、関係団体と連携しながら研修の開催や相談体制を充実させ、支援を行っている。

問 今後の防災DXの活用についての考えは。

答 災害情報の発信などの業務の効率化、災害対応に当たる職員の負担軽減など、さまざまな効果が期待できるため、今後も研究していく。





まの ひさかつ
真野 尚功
自由民主党田原市議団



給食の有機農産物購入には基準が必要では

今のところ予定はないが、関係部署と連携し、研究していく

伊良湖地域の振興について

問 みなとオアシス伊良湖の今後の方向性は。

答 地域資源を生かして、にぎわいの創出を図るとともに、防災活動拠点としての役割を意識した防災拠点の具体化に向けた検討などに取り組む。

問 みなとオアシスを活用した伊良湖地域の振興において、関係事業者と、どのように協力体制を構築していくのか。

答 みなとオアシス伊良湖運営協議会の行う地域資源の磨き上げを支援するとともに、近隣のみなとオアシスと連携を図り、多様な事業主体と協力体制を構築していく。

問 今後、伊良湖港周辺のにぎわいづくりをどのように進めていくのか。

答 民間の創意工夫や投資意欲を引き出すための環境整備や、新たに進出・出店する事業者に対しての、さまざまな支援体制を検討していく。

有機農業の推進について

問 有機農業の営農上の課題は。

答 営農に高い技術力が必要であり、安定した収穫量の確保が困難となるため、販売先の確保が難しく、安定経営が図られにくいことなどがある。

問 販路の一つとして、有機農法などで生産された農産物を給食センターで活用する上での課題は。

答 これまで購入してきた農産物との違いが見えにくい中で、価格が割高である。

問 給食で使用する有機農産物の購入に当たっては、基準が必要ではないか。

答 現在のところ、明確な基準を設ける予定はないが、関係部署と連携し、研究していく。



一般質問

P 8	つじ 史子	災害対策基本法等の改正に伴う市の防災の取り組みについて
P 9	まの ひさかつ 真野 尚功	伊良湖地域の振興について 有機農業の推進について
P 10	ひらまつ あきのり 平松 昭徳	三河田原駅周辺の状況について
P 10	ないとう きく え 内藤喜久枝	ひきこもりの支援について
P 11	なかむらけん たろう 中村健太郎	世界に誇れる花のまちプロジェクトについて
P 12	ふるかわ みさか 古川 美栄	カムチャツカ半島付近で起きた地震による津波警報から 見えた防災対策について
P 12	すず き かずもと 鈴木 和基	持続可能な公園管理の在り方について
P 13	お がわ きんいち 小川 金一	田原市の地域計画と農業振興について
P 14	おかもと しげあき 岡本 重明	わくわくするまちづくりについて

残置物等の強制撤去の進め方は

貼り紙を行い1カ月対応がなかった際には撤去する



ひらまつ あきのり
平松 昭徳
市民クラブ



三河田原駅周辺の状況について

問 田原駅南公共駐車場での残置物等の強制撤去の進め方は。

答 残置物等を片付けない場合には、強制撤去する旨の貼り紙を行い、1カ月間対応がなかった際には撤去を行う予定である。

問 駅舎周りを放置禁止区域に設定し、区域内の放置自転車の撤去を短期間にスムーズにできるようにするべきと思うが、市の考えは。

答 駐輪場内の放置自転車を定期的に撤去すれば、全ての自転車が駐輪場に収まると想定しているため、放置禁止区域を設定する予定はないが、駐輪場利用者の増加により、定期的に撤去しても駐輪場に収まらなくなった際には検討していきたいと考えている。

問 駅南公共駐車場から三河田原駅を渡るところに、横断指導線やカラー舗装などで、歩行者が横断する場所を道路に表示するような対応はできないか。

答 横断指導線やカラー舗装などのさらなる安全対策も含め、設置について引き続き協議をしていきたいと考えている。

問 駅舎出口正面の市道駅前通り線にある横断歩道に、歩行者やドライバーの安全性を高めるため、押しボタン式横断者明示標識を設置すべきと思うが、市の考えは。

答 押しボタン式横断者明示標識は、夜間などの事故防止効果が期待できるので、他市の事例等を参考に研究していきたいと考えている。



ひきこもりの支援について

問 ひきこもりの方に対応する相談員等の拡充等を予定しているのか。

答 ひきこもり等の状況と必要に応じて計画的に拡充を検討したいと考えている。

問 ひきこもりの方の居場所づくりについて、今後の展開は。

答 1人でも参加しやすい環境づくり等を考慮し、公共交通機関の便の良いところ等、必要に応じて新たな居場所の開設を検討していく。

問 潜在的なひきこもり状態の方々について、今後どのように対応していくのか。

答 相談員等が、教育サポートセンターや福祉関係部門等と不登校の生徒等のひきこもりに関する情報を共有することや、高等学校等に出向いて、子ども・若者総合相談窓口に対する理解を深めてもらうよう取り組む。

相談員等の拡充を予定しているのか

ひきこもり等の状況と必要に応じて計画的に拡充を検討したい



ないとう きくえ
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団





なかむら けんたろう
中村 健太郎
国民民主党田原市議員



市外への発信力強化のこれまでの取り組みと効果は

イベントでの周知やSNSの活用などにより、認知度向上等に結びついた

世界に誇れる花のまちプロジェクトについて

問 地域経済の活性化や市民の意識醸成、市外への発信力強化について、これまでの取り組みと効果は。

答 観光ガイド等への掲載や、さまざまなPRの取り組みによって、渥美半島への誘客を推進しており、多くの来訪者に店舗等で飲食や土産物を購入してもらうことで、地域経済の活性化につながっている。市民の意識醸成は、「みんなでつくろう！世界に誇れる花のまち」をテーマにアイデアを募集し、その一部を具体化している。また、ぐるりんバスや公用車等にステッカーを貼るなど、市民の目に留まるような取り組みも行っており、市民が花を身近に感じ、本市が花のまちであることを認識してもらえたと考える。市外への発信力強化は、市外の方が多く集まるイベントでの周知や、インスタグラムを活用してフラワーフォトスポット等の紹介をした。これらの結果、世界に誇れる花のまちとしての認知度向上や、本市のイメージアップに結びついたと考える。

問 花き農家に直接どのような効果が期待されるのか。

答 消費者への田原市産の花の知名度が向上し、花の消費量の拡大、さらなるブランド化による取引価格の上昇や新たな販路開拓を実現し、生産者の収益の増加や、これに伴い後継者の確保も期待される。

問 今後、さらにタハナに共感、賛同してくれる生産者や加工ができる人材を掘り起こす必要があると考えるが、そのための取り組みは。

答 今年度からはタハナ運営業務を外部委託し、関連事業者との連携によるタハナ事業のさらなる強化に取り組んでいる。

問 今後、市外へ新たに発信する方策はあるか。

答 横浜市で開催される2027年国際園芸博覧会への出展を検討しており、参加した市民や農業者、事業者等のシビックプライドの醸成や田原市への来訪者数の増加と、それによる経済効果が期待される。

問

不登校の中学生がひきこもらないようにする支援について、現在どのように取り組んでいるのか。

答

田原市
子ども・若者総合相談窓口
はなそう

さまざまな悩みを抱える子どもや若者（おおよそ40歳未満）と、その家族の方の相談をお受けします。

人と話をするのが苦手 学校に行きたくない
ゲームがやめられない 働きたいけどうまくいかない
将来どうなるのだろう などなど

ひとりでも悩まず、ご相談ください。
来所相談のほか、支援員が外出して相談をお受けする活動も行っています。

まずはお気軽にお電話またはメールでご連絡ください。

田原市子ども・若者総合相談窓口
(田原市ふるさと会館センター内)
◆開設日時 月曜日～金曜日
(年末年始・祭日除く)
午前9時00分～午後4時00分
◆所在地 田原市野田町備田3(田原市中学校)
◆TEL 0531-36-6453
◆メール kowaka@city.tahara.aichi.jp

避難所の環境における課題をどう捉えているのか

どの季節に災害が起きたとしても、良好な環境を確保すること



ふるかわ みさか
古川 美栄
新政田原自民クラブ



カムチャツカ半島付近で起きた地震による津波警報から見えた防災対策について

問 避難所の環境における課題について、市はどのように捉えているのか。

答 避難所の環境における課題は主に4点ある。1点目は、男女別の更衣室や休養スペース、授乳室等の設置によるプライバシーの確保である。2点目は、高齢者や障害のある方、乳幼児などの要配慮者や感染症患者のためのスペースの確保である。3点目は、適切な換気や清掃、消毒などの衛生管理である。4点目は暑さ対策である。暑さ対策については、これまでも避難所への空調設備の整備を進めてきたが、さらにスピード感を持って取り組んでいく必要があると改めて認識した。どのような季節に災害が起きたとしても、避難所の良好な環境を確保することが課題だと捉えている。

問 避難所への備蓄食料の配備について、市はどのように捉えているのか。

答 大災害が発生した場合には、道路が寸断され、各避難所への配送が困難となる可能性も考えられる。備蓄品の運搬を最小限に抑え、迅速に支給するためには、各避難所への備蓄食料の配備が必要

となることから、引き続き配備を進める。

問 避難所への備蓄食料の保管場所の確保状況は。

答 昨年度から、避難所となっている小中学校と、空き教室や空きスペースの確保について協議し、条件の整った学校から配備を進めている。



持続可能な公園管理の在り方について

問 今後、遊具の老朽化が進む。その対応として、どのように効率的な維持管理を行っていく予定か。

答 これまでの定期点検結果のデータから、劣化の進行を把握して適切な予防保全を行う。

問 予防保全型の維持管理は、更新コストを削減する効果が期待できると考える。そのためにも、DXを活用した通報システムの導入について考えられないか。

答 本市では、道路損傷通報システムや漏水等通報フォームが運用されているため、これらの利点や利用状況、運用課題を踏まえ、他市の事例を参考にしながら、導入の検討をしていく。

問 人手不足で作業の回数を増やすことが難しいため、作業方法を見直していくとのことだが、具体的にどのような方法で改善を図っていくのか。

答 自走式のロボット草刈機の利用や、除草剤使用を組み合わせた作業の省力化、防草対策における新技術の導入などを検討していく。

持続可能な公園管理を進めるための考え方は

市民協働の基本理念に基づき、みんなが役割を担っていく



すずき かずもと
鈴木 和基
新政田原自民クラブ





おがわ きんいち
小川 金一
自由民主党田原市議員



地域計画を今後どう推進するのか

地域での話し合いを継続し、地域の実情を計画に反映していく

田原市の地域計画と農業振興について

問 本市は全国有数の農業産出額を誇るが、後継者不足が深刻である。新規就農者の安定確保に関し、現状の課題とこれまでの取り組みの効果は。

答 現状の課題は、労働力不足や所得の不安定さ、多額の初期投資負担等がある。一方、これまでの取り組みの効果は、農地等のあっせんや初期投資の資金に関する補助金の交付、研修先の紹介等を行った結果、新規就農者は緩やかに増加しているため、一定数の担い手確保につながったと考える。

問 遊休農地は拡大傾向にあり、令和6年度には552ヘクタールにまで増加している。今後、遊休農地対策はどのように進めていくのか。

答 遊休農地の発生抑制、解消のため、まずは農地所有者や管理者に除草などの適正管理をお願いしている。また、貸したい、売りたいという意向のある方へは、農地・園芸施設バンクへの登録をお願いしている。貸借、売買の具体的な契約については、県農地中間管理事業の申請手続を支援するなど、今後も農地の流動化に努めていく。

問 台風被害や高温障害など、気候変動に対応した農業技術をどう推進していくのか。

答 これまで台風対策として、国や県の補助メニューを活用し、ハウスの補強整備を支援するなど、ハウスの強靱化^{きょうじん}に取り組んできた。高温対策として、軒高ハウスの整備や、循環扇、ヒートポンプの導入支援等、ハウス内の温度を制御する設備の導入を推進してきた。さらに、田原市農業改良推進協議会では、遮熱資材の使用や耐暑性品種の試験栽培も進めている。今後も国や県、大学等と連携し、地球温暖化に対応した農業技術の導入を推進していく。

問 地域計画を今後どのように推進するのか。

答 地域計画は一度策定して終わりではなく、将来の地域の農業・農地を守る、いわばスタート地点となるものである。今後も地域での話し合いを継続し、地域の実情に即した計画となるようにしていく。



※アダプトプログラム

市民と市がお互いの役割分担を決め、両者のパートナーシップのもとで環境美化を進めていく制度。

問

今後、持続可能な公園管理を進めていくためにはどうあるべきか、本市の基本的な考え方は。

答

市民協働の基本理念に基づき、みんながそれぞれの役割を認識し、担っていくことが重要である。そのため、多くの市民に公園の維持管理に参加してもらえよう、作業の効率化や機械化を進めながら、活動しやすい環境を整えていきたいと考える。また地元自治会をはじめ、いろいろな団体にも積極的に維持管理に参加してもらったことができれば、アダプトプログラム^(※)等といった仕組みづくりについても検討をしていきたい。

全ての世代がわくわくし、心の充足が高まる施策は

総合計画に掲げる施策を各世代に合わせて推進



おかもと しげ あき
岡本 重明
青嵐会



わくわくするまちづくりについて

問 全ての世代にとってわくわくし、心の充足が高まる施策が必要と考えるが、市の見解は。

答 第2次田原市総合計画に掲げる各施策をそれぞれの世代に合わせて推進することで、心の充足につながると考える。本市が居住地として選ばれ、住んでよかったと感じてもらうため、高度な都市機能などは近隣市と機能を分担して相互に活用することで補い、豊富な地域資源を活かした施策を推進し、まちに対する誇りや郷土愛の醸成に努めている。それに加え、若い世代が安心して子育てができる環境づくりや都市機能の利便性の向上等を推進していくことで、市民の心が充足し、住んでよかったと感じてもらえるまちにつながっていくと考える。

問 近隣市までの移動や市内の移動がスムーズに行えるための施策は。

答 強靱で信号のない道路について、国や県と一緒に検討を進めていく。公共交通については、豊橋鉄道渥美線と豊鉄バスの運行を維持確保するため、運行補助などを実施している。

問 住んでわくわくする、心の充足に向けた時代の変化に対応する新たな地場産業の育成は。

答 本市の特性を生かした6次産業化等の一層の推進や、田原創業支援ネットワークによる総合的な支援を行う。それとともに、新たな地場産業の育成のため、県が設置するSTATION Aiや東三河スタートアップ推進協議会と連携し、新産業の創出を推進していく。

問 新たな事業に臨む中小企業者から初期投資の相談が出てきたとき、STATION Aiや東三河スタートアップ推進協議会はどのような対応をするのか。

答 STATION Aiや東三河スタートアップ推進協議会には、多くの起業投資会社や各地域の金融機関が登録しており、初期投資などの資金調達が可能となる。また、同協議会は、地元の金融機関や投資家とのマッチングの実績がある。これらにより、新たな事業に臨みやすい環境を整えている。

議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議（一般質問）の映像を見ることができます。



利用方法

- ① 下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ② 視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

スマートフォンで議会だよりが読めます

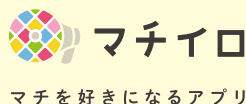
無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



利用方法

- ① 下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



https://machihiro.town/lp/aichi_tahara

田原市議会だより第100号記念特集



議会だよりのあゆみ

田原市議会だよりは、田原市制が始まった平成15年に創刊されました。市民の皆さまにとって読みやすく、分かりやすく、親しまれる議会広報を目指して創意工夫を重ね、今回で記念すべき第100号を迎えることができました。ここでは、第100号に至るまでの表紙の一部を掲載します。田原市議会のホームページでは、創刊号から第100号までの紙面を見ることができますので、ぜひご覧ください。

議会だより第100号に寄せて

広報広聴委員長 内藤 喜久枝

第100号の発行に当たり、今までの議会だよりを簡単に振り返りたいと思います。記念すべき第1号は、平成15年11月4日に発行されました。旧田原町と旧赤羽根町が合併し、田原市誕生記念イベントとして赤羽根海岸で開催されたサーフィンの世界大会が表紙を飾っています。当時は、表・裏表紙のみカラー印刷でした。第10号は平成17年、旧渥美町との合併後に発行されたものですが、この時から紙面がフルカラーになりました。その後、紙面構成が大きく変わったのが第48号です。議会報として評価されている議会を参考に、表紙写真の拡大や文章の段組みを6段から4段に変更、一般質問の記事は横書き、写真やイラストの多用など、さまざまな工夫を行いました。また、市民の皆さまに楽しんでいただける記事を増やすため、まちかどインタビューと題し、市民・団体を取り上げるコーナーを新設しました。そして22年を経て、ついに記念すべき第100号となりました。今後も市民の皆さまのお声を聞きながら、読みやすく、分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

議会だより
第1号～第100号は
こちらから↓



議員とたはらトーク in 中央図書館U18



8月17日（日）中央図書館で、18歳以下を対象に田原の未来についてをテーマに意見交換を行いました。頂いたご意見は議員全員で共有し、政策提案等の検討材料としていきます。

将来、田原市に住み続けるとしたら不安に思うこと。

- ・ 電車に乗るときのお金が高い。
- ・ 住む人が少なくなる。
- ・ 南海トラフ地震などの災害。
- ・ お店がどんどん減って将来困りそう。
- ・ 仕事が少なくて就職できるか分からない。



田原のまちがこうなれば良いと思うこと。アイデアなど。

- ・ たくさん買い物できる場所を増やす。
- ・ 福江、渥美の先端まで鉄道をつなげる。
- ・ 多様な人との関わりの場を増やす。
- ・ アニメとコラボして観光客を集める。



感想

田原の未来について話せて楽しかった!

田原について考えるきっかけになった。

これからもっと今日のようなイベントが増えると良い。

田原市議会・議員の活動を紹介する 「写真でみる田原市議会」開催します！

皆さんはどのような議員がいて、どのように活動しているか知っていますか？議会・議員の活動を知っていただくために、市内図書館で「写真でみる田原市議会」を開催いたします。「議会の活動」を記録した写真や、各議員の「今行きたい場所」や「おすすめの本」などを記載した「議員プロフィールカード」を展示します。おすすめの本については、実際に手に取って見ていただくこともできます。ぜひ図書館へお越しください。

開催時期

- 中央図書館
令和7年11月15日(土)～令和7年12月11日(木)
- 渥美図書館
令和7年12月14日(日)～令和8年1月8日(木)
- 赤羽根図書館
令和8年1月14日(水)～令和8年2月12日(木)



議員と花たはらトワ

開催します/
〈女性限定〉

日 時： 令和7年11月11日（火）

午後1時30分から午後3時まで

場 所： 渥美図書館前ロビー

対 象： 女性

定 員： 30人（受付順）

意見交換会テーマ：女性が暮らしやすいまち

申込方法： 11月4日（火）までに右の二次元コード

からお申し込みください。

↓申込みはこちらから



■実施方法：初めに令和7年第3回定例会の議会報告を行います。その後、5～6名程度のグループに分かれて、テーマについて意見交換を行います。

■問合せ先：田原市議会事務局

☎ 0531-23-3533 ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

行政視察報告

総務産業委員会

(7月8日～10日)



【視察テーマ・視察先】

- ・「①地方創生の取り組みについて」
「②商工業振興の取り組みについて」(島根県出雲市)
- ・「防災集団移転促進事業による災害発生前移転について」(島根県美郷町)
- ・「①雇用創出について」
「②空き家活用による定住・移住促進について」
(島根県江津市)



【参考になった点・所感】

- ・出雲ブランドの確立と発信に力を入れており、特に神話の時代から続く「ご縁」をテーマにしたプロモーションは、観光客誘致だけでなく、移住・定住の促進にもつながっている。(出雲市)
- ・防災集団移転について、行政が一方的に計画を提示するのではなく、歳月をかけて住民と対話を重ね、不安や疑問に真摯に向き合い、信頼関係を醸成したプロセスは、参考にすべきだと思った。(美郷町)
- ・雇用創出事業について、単なる産業誘致に留まらず、人を呼び込み、人を育て、地域課題を解決するビジネスを創出する視点が非常に優れていると思う。(江津市)

行政視察報告

広報広聴委員会

(7月17日～18日)



【視察テーマ・視察先】

- ・「議会広報の取り組みについて」(神奈川県開成町)
- ・「広報広聴活動の取り組みについて」(静岡県裾野市)



【参考になった点・所感】

- ・単に情報を発信するだけでなく、いかに市民に興味を持ってもらい、議会を身近に感じてもらうかという視点に立って、多様な手法を駆使している点に熱意が感じられた。(開成町)
- ・議員とたはらトークは改善の余地があると感じた。全員参加も大切だが、分野別の意見交換会や地域別の意見交換会の回数を増やすことに注力すべきか、何が最善か分からないので、トライ＆エラーを繰り返していくことが結論だと感じた。(裾野市)

7月15日
東三河市町村議会議員・
議会事務局職員合同研修会



「議論は活発に!でも・・・傾聴・受容・共感のココロで～自らの・議会の政治倫理を再確認～」をテーマに政治倫理について勉強しました。

8月5日
第38回愛知県町村議会広報研修会



「議会の見える化&住民との信頼築く～議会広報の基本と編集～」をテーマに議会広報について勉強しました。

8月27日・28日
第20回全国市議会議長会
研究フォーラムin札幌



「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマに開催された研究フォーラムに参加しました。

9月13日・14日
トライアスロン伊良湖大会開会式・
大会



大会前日の開会式に続き、大会当日には選手に声援を送るとともに、表彰式では議長が上位入賞者の健闘をたたえました。

10月1日
田原市議会・鳥羽市議会議員
交流会



「伊勢湾口道路建設に向けた歴史とこれからの取り組み」をテーマに鳥羽市議会と意見交換を行いました。

10月6日
三遠南信サミットin南信州



「人口減少時代の広域連携～持続的に成長する地域の創生～」をテーマに開催された三遠南信サミットに参加しました。

お知らせ information

令和7年第4回定例会（12月議会）会期

12月4日(木)～12月18日(木)

日	月	火	水	木	金	土
11/30	12/1	2	3	4	5	6
				本会議 (議案審議)		
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (一般質問)			文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会	
14	15	16	17	18	19	20
		議会運営委員会		本会議 (採決等)		
21	22	23	24	25	26	27

開会時刻は10時です。(12月11日の総務産業委員会は13時30分からです。)

※日程および時間は、変更になる場合があります。

マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。
本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。



インタビュー

Vol.47

優秀太鼓代表

榊原 一 さん

—いつ頃から活動を。

平成16年に創設し、昨年20周年を迎えました。教えていただいた先生のこだわりで、優華太鼓の華は華山先生の筆を使用しています。

—メンバーについて。

創設時は4人でスタートし、入れ替わりがありながら現在は8人で活動しています。メンバーの高齢化も進んできており、なかなか後継者が見つからず困っているのが現状ですね。託児所ならぬ託老所(笑)になっていますが、認知症防止には役立っています。

—現在の活動状況は。

毎週火曜日に衣笠市民館で練習をしています。演奏を披露する機会は年に5回程度で、春と秋の文教まつりや市民館まつり、敬老会などで演奏しています。その他に、コロナ禍前までは地域の先生みtainな形で、衣笠小学校の4～6年生のク



—今後の活動は。

若い人の太鼓は体力を使う叩き方がありますが、私たちの太鼓は体力が必要ではありません。人前で太鼓を叩くことは緊張しますが、それが練習の張りになります。演奏を聞いてくれる人にも喜んでもらっているのです、できる限りは続けていきたいと思っています。

(聞き手: 柳元浩幸) 令和7年9月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

🌐 <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/> ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・バック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447



社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里
田原福祉グローバル専門学校



※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。